

# 春の火災予防運動で防火をアピール

## 大雪消防組合東消防署



第一小で行われた放水体験(4月20日)

翌21日には、少年消防クラブ、婦人防火クラブと一緒に商店街で街頭啓発を行い「火の用心お願いします」と元気な声で呼びかけました。



消防団防火パレード出発式(旧消防支署前)

4月20日から10日間行われた春の火災予防運動で、大雪消防組合東消防署(東神楽町15号南3番地)は、消防ふれあい広場防火パレード、避難訓練、消防ホースの放水体験など、地域の防火意識を高めてもらう催しを繰り広げました。

20日は、町内消防団の防火パレードと第一、第二両小学校で避難訓練を行いました。子どもたちは訓練後に消火器の使い方や消防車のホースで放水体



◀消防車の体験試乗に喜ぶ子どもたち(4月25日)

東神楽町に移転した新庁舎で、25日に「消防ふれあい広場」を開きました。幼児センターの子どもたちがピカピカの真っ赤な消防車や救急車に乗りたり、放水体験をして大喜びでした。

# ライオンズクラブ羽衣園で植樹

「羽衣園を桜でいっぱいに」と東川ライオンズクラブ(若林利夫会長)は5月16日、東川町特別養護老人ホーム、羽衣園で



桜の苗木を植樹しました。羽衣園の庭は、忠別川右岸の河川敷と地続きで続いています。「付近一帯を美しい桜堤に」というのが会員の願い。毎年10本ずつエゾヤマザクラの苗木を植えてきました。3年目の今年は、以前植えた苗の補植も含め、会員10人で樹高約2メートルの苗木18本を植え、桜いっぱいの堤の姿を思い描いていました。

# 幼児が畑の種まき初体験

5月14日、幼児センター横の体験農園で、同センターの幼児約50人が種まきをしました。

町中山間制度推進協議会(菊地正晃会長)が去年から始めました。小さいときから農業や身近な自然に親しんでもらうのが狙いです。農園ではトウモロコシ、ジャガイモ、



人参、大根など10品目以上の野菜を作る予定です。

9月中旬には収穫の予定で、手作りの野菜が子供たちの給食にいっぱい出るようになっていきます。「苗さん、大きくなってね」。子供たちはみんな声を合わせて豊作を願いました。